

1230 | 版画Ⅳ

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

永井研治教授、遠藤竜太教授、高浜利也教授、今井庸介講師、木村繁之講師、木村真由美講師、小森琢己講師、渡邊洋講師

授業の概要と目標

版画という造形表現を用い、各自がイメージを膨らませ、テーマや表現方法の可能性を探っていく。通信授業では、「空間」をテーマにして、各自が自由に解釈し版表現に結び付ける。平面上にできる（絵画）空間は、奥行きのある空間、平面的な空間、錯綜した空間等、様々である。ここでは各自の表現としての空間とはどのようなものなのかを版を通して探っていく。面接授業では、「版画Ⅱ」と同様の「銅版」「スクリーンプリント」を開講する。「版画Ⅱ」で選択していない版種を選び、その基本技法を習得する。ここで4版種すべてを修得したことになるので、改めて各版種の特徴とは何かを考えてみる。

課題の概要

○通信授業課題「空間」

1-1 4版種（木版、リトグラフ、銅版、スクリーンプリント）の中から1版種を選択し、「空間」をテーマに、ドローイング、版画作品を制作する。

1-2 自由にテーマを設定し、ドローイング、版画作品を制作する。

○面接授業課題「基本技法の習得」

1-1 「銅版」「スクリーンプリント」のどちらかを選択し、基本技法を習得しながら制作する。

・「銅版」イメージサイズ：18.2cm × 24cm

・「スクリーンプリント」イメージサイズ：30cm × 42cm 程度

授業計画

[通信授業]

学習指導書『版画Ⅲ～Ⅴ 平成29年度』の「版画Ⅳ」、教科書『新版 版画』を参照して、制作を進める。

[面接授業]

「銅版」または「スクリーンプリント」（版画Ⅱにて選択していない方の版種を選択）

第1日 午前：前提講義及び制作 午後：制作

第2日～5日 午前：制作 午後：制作

第6日 午前：制作 午後：採点・講評

成績評価の方法

通信授業課題と面接授業課題の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3年次

[履修条件] 「版画Ⅲ」の単位を修得しているか、同時に履修登録すること。

[備考] 油絵学科版画コース3年次必修科目。

「版画Ⅲ」、「版画Ⅳ」、「版画Ⅴ」は、ローマ数字の順に学ぶことで学習効果が上がるように授業内容が設定されているが、スクーリング日程の都合などにより順序通りの受講ができない場合は、受講順序は問わない。ただし、「版画Ⅴ」のスクーリングは受講経験のある版種を選択すること。

通信授業を受講するにあたり、選択版種に応じて設備・機材を使用できる環境にあることが望ましい。

教材等

教科書：『新版 版画』（武蔵野美術大学出版局 2012年）

学習指導書：『版画Ⅲ～Ⅴ 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）